

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
乙金地区(第二期)

平成29年4月

福岡県大野城市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	居住人口	人	7,892	8,100	8,461	確定	○	あり	8,579	H29年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業による新規の市街地整備に加え、土地区画整理事業地区周辺の既存住宅地の道路環境の改善を行ったことにより、都市再生整備計画の計画地区全体の利便性や安全性が高まった。その結果、土地区画整理事業地区内の人口増加だけでなく、都市再生整備計画の計画地区全体の居住人口の増加につながった。
					見込み	●	なし						
指標2	新築着工件数	戸	77	130	138	確定	○	あり	145	H29年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	データの計測方法は土地区画整理事業地区内の76条申請数であることから、土地区画整理事業及び地区内の公園整備事業が直接的な貢献をしている。ただし、土地区画整理事業地区周辺の道路整備といった都市再生整備計画の計画地区全体の環境整備を行ったことが地区全体の利便性や安全性を高めており、その結果保留地販売の好調にもつながっている。
					見込み	●	なし						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	コミュニティバスの乗降客数	人	364,093	/	369,169	確定	●	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/
その他の数値指標2			/	/	/	確定	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/
その他の数値指標3			/	/	/	確定	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	歩行者の安全性向上			地区の人口増加や利便施設の立地に伴い、自動車交通量が増加したため、交通安全に関する取組みが必要である。
	地域コミュニティによるまちづくり活動			市民と市が「共働」し、地域活動の充実、安全安心のまちづくりを図る必要がある。
	コミュニティバスの利便性向上			利便性向上を目指し、利用者等の動向を踏まえながら、さらなる利用者の増加を図り、市民の満足度を高める。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	狭あい道路の整備			改善が可能な道路についてはハード整備を検討する。また、拡幅整備等が困難な道路については、事故を未然に防止するための交通安全施設の設置等の対策を行う。
	自動車交通量の増加に伴う事故防止			歩行者や運転者に対して交通安全意識を向上させる取組みを行い、歩行者の安全性を維持していく必要がある。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項